

2026年6月17日

株式会社ヤマウラ

(コード番号:1780 東証プライム市場)

ニュースリリース

---

## 屋外無人施設向け盗難防止システム『GuarDON(ガードン)』を開発 ～ 太陽光発電設備等の防犯需要をにらみ、機器販売から設置工事、保守まで一括対応 ～

---

総合建設業・製造業の株式会社ヤマウラ（本社：長野県駒ヶ根市、代表取締役社長：山浦正貴、以下「当社」）はこのたび、太陽光発電設備など屋外無人施設における盗難被害の防止を目的とした盗難防止システム『GuarDON』(ガードン)を開発しましたので、お知らせいたします。



※イメージ

### 1.開発の背景・目的

近年、全国各地で太陽光発電所における銅線・ケーブル盗難をはじめ、農業分野における果実盗難、建設現場における資材・工具盗難など、屋外無人・広域施設を狙った犯罪が社会課題となっております。特に太陽光発電設備では、ケーブルそのものの被害に加え、復旧までの長期間にわたる売電停止により、損失額が多額に及ぶケースも発生しています。

こうした課題に対し、当社は、侵入検知から威嚇、記録、通知までを一体化したシステム『GuarDON』を開発。被害発生後の対応ではなく、“被害に遭わないための予防”に主眼を置いたソリューションとしてリリースしました。

## 2. 「GuarDON」の主な特長

以下の機能を組み合わせることで、侵入者への早期警告と管理者への迅速な通知を実現します。

① 人感エリアセンサーによる侵入検知

対象エリアへの侵入を感知し、即時にシステムへ信号伝送。

② 360度高性能屋外カメラによる監視・録画

AIによる動体検知機能を備え、常時録画にも対応。現場状況の把握と記録保全に寄与します。

③ 音声警報・回転灯・フラッシュライトによる威嚇

侵入者に対し、音・光・視覚警告を組み合わせることで即時に警告を発し、犯行抑止を図ります。

④ メール通報機能

異常検知時に管理者へ通知し、迅速な初動対応を支援します。

⑤ 用途に応じたカスタマイズ対応

太陽光発電設備、果樹園、建設現場など、設置環境や顧客ニーズに応じて柔軟なシステム構成が可能です。

## 3. 想定導入先と市場ニーズ

本製品は、以下のような盗難リスクの高い現場を主な対象としています。

想定導入先	主な被害対象	顧客課題
太陽光発電設備	ケーブル・銅線等	被害額に加え、売電停止による逸失利益が大きい
果樹園・農地	果物・農産物	収穫期の盗難リスク、人手不足下での巡回負担
大規模工事現場	建設資材・工具	夜間・休日の無人時間帯の防犯強化需要

社会インフラ、再生可能エネルギー、農業、建設といった分野では、近年、労働力不足や広域管理ニーズを背景に、省人化と安全管理を両立する防犯システムへの需要が高まっています。

当社は建築、土木、エンジニアリングの現場対応力や設備提案力、施工力、保守対応力といった事業基盤を生かし、既存顧客への提案機会の拡大および新たな需要の取り込みを図ってまいります。機器販売から設置工事、保守契約まで一括対応することでストック収益も追求し、お客様満足度の向上を追求するとともに、企業価値向上に努めてまいります。

## 4. 今後の見通し

3年後の売上目標2億円を目指しており、中長期的にはエンジニアリング事業における

新たな収益機会の創出につながるものと考えております。

現時点において本件が当社連結業績に与える影響は軽微ですが、今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

**【株式会社ヤマウラについて】**

創 業 1920（大正9）年  
資本金 28億8,849万円  
代表者 代表取締役社長 山浦正貴  
上場市場 東京証券取引所プライム市場/名古屋証券取引所プレミアム市場  
事業内容 総合建設業・製造業として、建設事業（建築・土木）・エンジニアリング事業・  
開発事業を展開  
URL <https://www.yamaura.co.jp>

**【本リリースに関するお問い合わせ】**

株式会社ヤマウラ 経営戦略本部 IR推進課 宮下  
E-mail : [ir@yamaura.co.jp](mailto:ir@yamaura.co.jp)